|  |  |
| --- | --- |
|  | **キュービクル式発電設備　適合チェック表** |
|  | 審査内容 | 適合 |
| 設　置　位　置 | 避難上支障とならない位置に設置されているか |  |
| 可燃性、腐食性の蒸気、ガス若しくは粉じん等が発生し、又は滞留するおそれはないか |  |
| コンクリート等不燃性の材料で作った堅固な床又は地盤面上に設置されているか |  |
| 火を使用する設備を設けた室内に設置されていないか。（周囲に有効な空間を保持する等、火災予防上安全な措置を講じた場合はこの限りでない。） |  |
|  |
|  | 項目 | 審査内容 | 申請機器 | 適合 |
| 構　　造 | 外　　箱 | 材料 | 鋼板又はこれと同等以上の防火性能を有するものであるか | 材料〔　　　　　　〕 | 　 |
| 板　厚 | 床面以外 | 1.6ｍｍ（屋外用2.3ｍｍ）以上であるか | 板厚〔　　〕ｍｍ | 　 |
| 床面　 | 1.6ｍｍ（屋外用2.3ｍｍ）以上であるか（コンクリート造又はこれと同等以上の防火性能を有する床に設けるものの床面部分については、この限りでない。） | 板厚〔　　〕ｍｍ又は床面の防火性能〔　　　　〕 | 　 |
| 開口部 | 防火戸（網入りガラス入りの場合はその部分を準不燃材料で固定）が設けられているか（換気口又は換気設備の部分は除く） | 防火戸〔有・無〕網入りガラス〔有・無〕準不燃材で固定〔有・無〕 | 　 |
| 固定 | 床に容易・堅固に固定できる構造であるか | 固定〔有 ・ 無〕 | 　 |
| 隙間 | 直径10ｍｍの丸棒の入る穴又は隙間はないか　　　　　　　　　　　　　（配線の引込み口及び引出し口、換気口等も含む） | 最大隙間〔　　〕ｍｍ | 　 |
| 外部露出設置可能機器 | 各種表示灯（カバー材は難燃材以上であるか） | カバー材〔　　　　〕 | 　 |
| 冷却水の出し入れ口及び各種水抜き管 | 〔適・否〕 | 　 |
| 燃料の出し入れ口 | 〔適・否〕 | 　 |
| 配線の引出し口 | 〔適・否〕 | 　 |
| 換気口及び換気装置 | 〔適・否〕 | 　 |
| 内燃機関の排気筒及び排気消音器 | 〔適・否〕 |  |
| 内燃機関の息抜き管 | 〔適・否〕 |  |
| 始動用空気管の出し入れ口 | 〔適・否〕 |  |
| 上記の他、露出機器はないか | その他露出機器〔有・無〕 | 　 |
| 上記について、屋外に設けるものにあっては、雨水等の浸入防止措置が講じられているものであるか | 雨水浸入防止措置〔有 ・ 無〕 | 　 |
| 収納状態 | 内燃機関、発電機、制御装置等の機器が外箱の底面から10ｃｍ以上離して収納できるもの、又はこれと同等以上の防水措置が講じられているものであるか | 底面から〔　　　〕ｃｍ又は防水措置〔有・無〕 | 　 |
| 屋外に通じる有効な排気筒及び消音器を容易に取り付けられるものであるか | 排気筒・消音器容易に取付 〔可・不可〕 |  |
| 内燃機関及び発電機を収納する部分は、準不燃材料で区画し、遮音装置が講じられているか | 準不燃材の区画〔有・無〕遮音装置〔有・無〕 |  |
| 内燃機関及び発電機は、防振ゴム等振動吸収装置の上に設けられているか | 振動吸収装置上の設置〔適・否〕 |  |
| 電線等は、内燃機関から発生する熱の影響を受けないように断熱処理を行うとともに固定されているか | 断滅処理　〔有・無〕固定　　　〔有・無〕 |  |
| 配線 | 電線引出し口は、金属管又は金属製可とう電線管を容易に接続できるものであるか | 接続〔可 ・ 不可〕 | 　 |
| 換　気　装　置 | 全般 | 外箱の内部が著しく高温にならないよう空気の流通が十分に行えるものであるか | 流通〔可 ・ 不可〕 | 　 |
| 開口部 | 自然換気口の開口部の面積の合計は、外箱の１の面につき当該面の面積の1/3以下であるか | 開口部面積〔　　〕％ | 　 |
| 機械式 | 自然換気口不足の場合は、機械式換気設備が設置されているか | 機械式設備〔有 ・ 無〕 | 　 |
| 換気口 | 換気口には金網、金属製がらり又は防火ダンパー等が設けられているか | 設置設備〔　　　　　　〕 | 　 |
|  | 記入者 | 会社名：　　　　　　　　　　　　　　　氏名： |
|  | １　「申請機器」欄は今回申請キュービクル式発電設備についての値等を記入してください。 |  |
|  | ２　「適合」欄は、適合している場合は○、不適合の場合は×、非該当の場合は／を記入してください。 |
|  | ３　上記適合状況が確認できる資料を添付してください。 |